

お知らせ

記者発表資料	平成29年 7月27日
配布日	

■同時発表先：岡山県政記者クラブ  
岡山市政記者クラブ

ひやっけんかわ ぶんりゅうぶ にのあらて

## 百間川分流部「二の荒手」 完成報告会のお知らせ

～分流部治水施設「二の荒手」を復元・改築しました！～

百間川分流部では、平成31年夏の百間川放水路事業完成を目指し、放水路としての適切な分流機能強化のための改築工事を進めています。

この改築工事のうち、分流部下流側（中島竹田橋下）に位置する「二の荒手」の改築（補強・復元）が6月末で完成しました。

「二の荒手」の完成にあたり、百間川分流部の整備についてご協力いただいている地元の皆さまを招待して完成報告会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

■日 時：平成29年7月29日（土）10:00～11:00

※小雨決行（注意報等発令された場合は中止）

■場 所：岡山県岡山市中区竹田地先 中島竹田橋下（詳細は別添参照）



下流より望む



石張り完成状況

<問い合わせ先>

【問い合わせ先】国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101（代表）

086-223-5184（工務課直通）

<担当> 副所長

今岡 俊和（いまおか としかず）

工務課長（事業内容） 兒子 真也（にこ しんや）

# 百間川「二の荒手」改築工事完成報告会 次第（案）

1. 日 時 平成29年 7月29日（土） 10時00分～

2. 場 所 場所 百間川分流部 中島竹田橋下

3. 主 催 中国地方整備局 岡山河川事務所

## 4. 報告会次第

(1) 開会挨拶

(2) 来賓挨拶

(3) 津田永忠顕彰会 祝辞

(4) 工事報告・現地案内

(5) 記念撮影

## 【参考】

### 百間川の改修経緯

百間川は、岡山城と上道郡を洪水から守るとともに、下流域の新田開発のために築造されて以来、約300年にわたり旭川放水路として岡山平野を洪水の氾濫から守る大切な役割を果たしています。

国土交通省では、百間川の役割の継承と、百間川沿川における安全確保の両立をめざして、昭和49年に築堤等の本格的な百間川改修に着手し、平成9年には工事実施基本計画(平成4年改定)の百間川分流量(2,000m<sup>3</sup>/s)に対応した堤防が砂川を残し概成しました。

また、百間川河口水門の増設工事が平成27年3月に完成し、現在放水路事業の最終段階である分流部の改築を進めています。

#### これまでの百間川整備の概要

##### ●河道整備

洪水が安全に流れる河道に！



##### ●堤防整備

堤防を高く、丈夫に！



##### ●橋梁改良

洪水時にも安心して渡れる橋に！

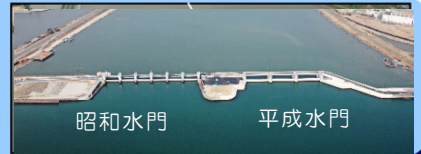


##### ●排水路整備

機能的な排水路に！



##### ●百間川河口水門の増設



### 分流部改築の必要性

●平成10年の洪水においても、一の荒手や二の荒手の一部が破壊されており、発掘調査の結果では今まで幾度も修復・補強を繰り返していました。



#### 分流部の改築が無ければ・・・

●適正な分派が出来ません。  
(未改修の箇所が多い旭川に多く流れ、堤防の完成した百間川の放水路効果が発揮できません。)

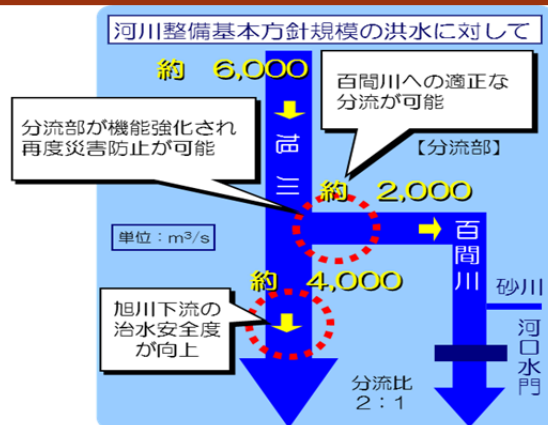
●旭川の流量が約5,000m<sup>3</sup>/sを越える大洪水の場合、洪水は背割堤の全区間を越え百間川へ多く流れ込みます。

●分流部(一の荒手・二の荒手・背割堤)は空石積みのため洪水により破壊する可能性があり、壊れた場合は百間川的能力より多くの洪水が流れ込むため、沿川で浸水被害が発生します。

#### 分流部の整備が完了すると・・・

●百間川放水路の機能が発揮され、中小洪水時でも岡山市内の浸水が軽減されます。

●適正な分派により百間川沿川の浸水も防げます。



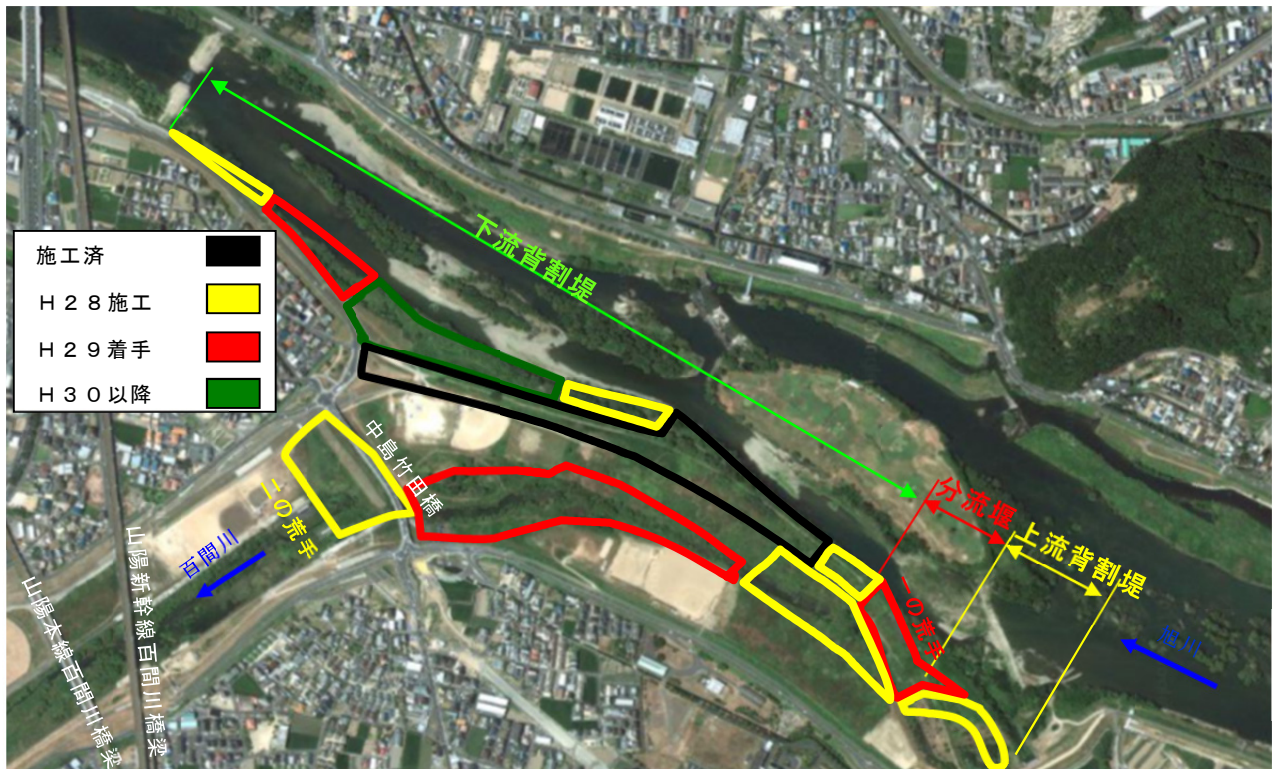
## 【参考】

### 分流部改築の状況

平成 26 年度に本格工事着手した百間川分流部改築事業は、「背割り堤」が概成、「二の荒手」が完成し、平成 29 年 6 月現在進捗率約 40%です。

今後は最終段階である「一の荒手」について、平成 29 年 10 月より本格着工し、残る百間川内の残案件と併せ、残り 2 年での完成予定です。

平成 31 年夏の百間川分流部完成と、旭川放水路（百間川）の完成を目指しています。



### 百間川分流部改築イメージ（一の荒手箇所）



## 実施場所

百間川分流部 中島竹田橋下



## 駐車場

※中島竹田橋上流に駐車スペースを設けます。誘導員の案内に従って駐車してください。

